熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

～健康長寿は歯から～
～健口から健幸へ～

熊歯会報

No.813
March 2024
3

CONTENTS

● 巻頭言（常務理事　馬場 一英）…… 3
● 理事会報告…… 4
● 委員会報告（地域保健学校歯科、地域包括ケア、学術）……7
● お知らせ …… 9
● 郡市会報告（熊本市、天草郡市、山鹿市、阿蘇郡市、上益城郡）…… 13
● リレー投稿㊼…… 17
● 熊歯乙女のひとりごと㊱…… 18
● 新入会員 …… 19
● 会務報告 …… 20

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

人吉にある国宝・青井阿蘇神社に参拝に行きました。茅葺の屋根や厳かな雰囲気が歴史の重みを感じさせます。九州豪雨で大変な被害を受けましたが、よくぞここまで復興出来たなと思います。同敷地内に昨年完成した隈研吾氏デザインの国宝記念館もとても見応えがありました。

人吉クラフトパークのお雛様の展示（３月いっぱいまで）もとても綺麗で華やかです。お近くに寄られた際は是非足を運んでみて下さい。　（H・G）

次の世代の為に

常務理事　**馬場 一英**

今期より常務理事を拝命いたしました馬場一英と申します。伊藤執行部一期目より学術担当理事を務め、この度より学術と広報を主に担当致します。微力ではございますが、会員の皆様のご指導を仰ぎつつ県民の健康増進のため誠心誠意尽力する所存でございますので何卒宜しくお願い致します。

世間は丁度受験シーズンを迎えており、至る所で高校、大学受験に臨む学生さんを目にしております。我が国は世界が経験したことのない超高齢化社会と対峙しており、その影響を少なからず感じているところですが、これからの日本を支えていく若者たちの未来が明るいものであることを望むばかりです。奇しくも今年はいわゆる2025年問題を翌年に控えております。これは「団塊の世代」800万人が全員75歳以上となり、全人口のうち2180万人が後期高齢者となるものです。また65～74歳の前期高齢者は1497万人に達しこれらを合わせると、国民の３人に１人は高齢者という計算となり、様々な局面でその影響は決して小さいものでないことは、今日現在においても痛感しているところです。私たちが従事する歯科医療に目を向けますと歯科的ケアの需要は増大する一方、受診者のアクセス困難や有病率の増加などによる受け入れ側のハード、ソフト両面からなるサポート体制はさらに充実を迫られる一方、歯科医師、パラデンタルの人手不足はさらに深刻化すると考えられ、特に本県ではTSMCの進出により、量的課題や地域の人口分布の変化にのみならず、人件費の高騰も懸念されるところです。（もちろん地域経済の高揚については喜ばしいことであります。）人材不足は地域歯科インフラの維持安定を脅かす問題であり、就業促進への取り組みはもちろん、効率的な診療スタイルの模索や、新たなアシストツールの導入、特にデジタル技術の適切な活用は必須となるかもしれません。

高齢化に関連のないところでも金パラ高騰や、保険のオンライン化、医院承継等、直面する課題は山積しており、各方面への働きかけに尽力する傍ら、私見ですが、ルールに則った上で、日々研鑽を重ねて、適切なエビデンスに裏打ちされた診療に注力し、少しずつ世の中に適切な評価をいただくことを第一義にすべきと思っております。地道な道のりかもしれませんが、歯科界を担う次世代の若者に社会的にも経済的にも、より正当な評価を受ける歯科医師という職業を遺していくことは、現役世代の使命だと思っております。その一助となりますよう、正確かつ有用な情報提供と、対外的なPRに尽力していきますので、よろしくお願い致します。

理事会報告

自ら考え行動・発言していく

― 第９回理事会 ―

日　時：令和６年１月30日（火）午後７時00分から午後８時53分
場　所：県歯会館 第１会議室
出席者：伊藤会長他全役員、増田・水上監事、東学院長
１　開会：椿副会長
２　挨拶：伊藤会長

今年に入って能登半島地震等悲惨な状況になっております。私たちはやるべきことをやっていければと思います。雪国で道路状況も悪い中、JDATが入り対応しています。メディアからも口腔ケア、誤嚥性肺炎の取材が増えています。歯科医師が活動し誤嚥性肺炎等での災害関連死を少なくするために国民や県民にも広報が必要です。そのような歯科医師会の活動には数も必要ですが、何もしなければ数は今後減ってきます。若い方に歯科医師会の在り方、若年層へ歯科に興味をもってもらうような事業が大切になってきます。指示待ちにならず、自ら何ができるのか打破できるのか考えながら行動・発言することを今年もお願いしまして、挨拶とさせていただきます。

３　議長選出：伊藤会長
４　議事録署名人：増田・水上監事、伊藤会長
５　会務報告：
（自：12月22日～至：１月25日）
本会総務：理事会、常務理事会
学　　術：歯周病対策プロジェクト講演会、学術委員会
社会保険：社会保険委員会（Web）
地域保健学校歯科：糖尿病・歯周病医療連携研修会
地域包括ケア：地域包括ケア委員会
広　　報：「熊歯会報」２月号の校正
医療対策：医療相談・苦情事例報告

厚生・医療管理：インスタグラム活用講演会
センター：センター登録歯科医制度研修会
学　　院：始業式、一般・社会人二次入学試験
国保組合：九歯連協議会
以上、各担当役員より報告がなされた。

６　報告事項
１．退会会員について
・故　三村　保　会員（終身会員／山鹿市／閉院）88歳 令和５年12月27日ご逝去
・廣田　雄軌　会員（第３種／伊藤歯科医院／菊池郡市）令和５年12月29日付　退職
２．HIV受け入れ可能診療所募集状況について
３．代診派遣バンクアンケート結果について
４．12月末会計現況について

７　連絡事項
１．２月行事予定について

８　承認事項
１．新入会員の承認について【承認】

第１種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
井手（いで）　崇博（たかひろ）	にじいろ歯科 スマイルクリニック	熊本市南区島町4-1-60	福岡歯科大学
一森（いちもり）　康男（やすお）	いちもり歯科 クリニック	八代郡氷川町網道287-8	九州歯科大学

２．後援依頼について【承認】
①第９回日本精神科看護学術集会／（一社）日本精神科看護協会

②熊本糖尿病ネットワーク研究会in八代圏域／小野製品工業㈱

9　議題

1．関係機関・団体への会費等の納入について【承認】

①令和５年度会費／熊本地域リハビリテーション支援協議会

②令和５年度法人会費／日本対がん協会熊本県支部

2．令和５年度第２回臨時代議員会会務報告について【承認】

• 会務報告を承認した。

3．くまもと歯の健康文化賞の推薦候補について【承認】

• 県内の企業や大学等推薦候補の範囲を広げる。地域保健学校歯科委員会にて検討する。

4．令和６年能登半島地震災害への義援金について【承認】

• 第１次募集は、311名の会員より総額3,821,000円の義援金が集まった。第２次募集は２月の定期発送にて募集する。また、県歯として300万円の義援金を石川県歯へ送る事を承認した。

5．令和５年度出産育児就業制限による県歯均等割会費及び県歯共済互助負担金免除申請の認定について【承認】

• 出産育児就業制限による県歯均等割会費及び県歯共済互助負担金免除を承認した。

6．令和６年度県歯会費及び共済互助負担金免除申請の認定について【承認】

• 県歯会費及び共済互助負担金免除を承認した。

7．歯科体験イベント実施計画書（案）について【承認】

• 実施計画書（案）を承認した。イベント名については地域保健学校歯科委員会にて再検討する。

8．第45回全国歯科保健大会について【承認】

• プログラム（案）を承認した。

9．令和５年度熊本県補助・委託事業に係る予算（案）について【承認】

• ヘル歯ー元気8020 支援事業／むし歯予防対策事業／災害歯科保健医療研修強化事業／障がい児（者）口腔ケア事業・介護者歯科実技研修事業の予算（案）を承認した。

10. 熊本市との業務委託契約について【承認】

• 熊本市フッ化物塗布事業、熊本市節目年齢歯科健診事業、妊婦歯科健康診査等の熊本市で実施している健診事業を県内の歯科医療機関でも実施できるように業務委託契約を結ぶ事を承認した。

11. 本会・学院の電力契約の見直しについて【承認】

• 日本テクノ株式会社との電力契約を承認した。

10　監事講評

増田監事：「能登半島地震に関して知人に聞くと、断水が続いて診療が全くできない状況だそうです。我々にできること、被災者の口腔ケア、義援金を送る等お願いします。11月の全国歯科保健大会は大変かと思います。一致団結して頑張ってください。」

水上監事：「能登半島地震に関して診療所が無事でも被災状況が続くと患者さんが来なくなる。義援金がとても大切になります。熊本地震でも我々も貰っていますので皆で協力していきたいと思います。

日歯広報は皆さんよく読んで下さい。とても良い事が載っています。医療費の事が載っています。中医協の事も書いていますので、その事を押し込んで下さい。全国平均の収入も掲載されています。」

11　閉会：大林副会長

（広報　神﨑 理子）

委員会報告

インスタグラムを利用した求人戦略

― 歯科衛生士確保事業講演会 ―

厚生・医療管理

1月17日（水）19時30分より県歯会館にて上場企業や厚生労働省のSNS広告を手掛ける㈱SARA代表取締役・宮口正造先生を講師に迎え、Zoomオンラインで会員及びスタッフ向けに「インスタによる求人戦略！とは？～どうする歯科衛生士不足～」が開催された。講演に先立ち、永松副会長より挨拶があった。講演は講師の自己紹介に始まり、実際に地方の他業種でインスタグラムを利用することで慢性的な働き手不足から求人に成功した事例が挙げられた。また、他のSNSと比べてのインスタグラムの利点や現在の若年層や特に女性層がインスタグラムに目を通す機会が多いことがデータとして示された。

実践的な話になり、医院内に複数人のSNS担当者を置くことの利点やそうした活動を評価することがモチベーション向上につながること、インスタグラムを通して医院内の雰囲気をつかみやすく、復職などの敷居が下がることも説明された。

また、不特定多数の目に留まりやすい投稿の例として、ハッシュタグの使い方や実際のアプリを使用して写真に加えて文字を加える方法や映える写真撮影のコツが具体的に細かく説明され、非常にわかりやすい内容であった。講演参加者はスマートフォンを手に受講されており、講演内で実際にアプリに触れながらインスタグラムを出稿する方法や、閲覧がどの層にどれだけ表示されているかを確認する方法についても説明があった。さらに、最近のAIを利用した自動スライド作成機能など、最新の技術についても紹介があり講演の最後にはインスタグラムの医療広告ガイドラインの補足説明もなされた。

講演はZoomにて行われた

最後に工藤理事の謝辞により閉会となった。

講演を通じてインスタグラムは無料のアプリで手軽であり、多くの人の目に留まりやすいツールであることからも使い方次第で非常に有効な医院の宣伝手段であることが改めて示された。今回の講演でインスタグラムを利用して自院の魅力をアピールでき、求職者との橋渡しができたら幸いである。

（牧 潤一）

委員会報告

令和５年度8020支援事業

― 糖尿病・歯周病医療連携研修会 ―

地域保健学校歯科

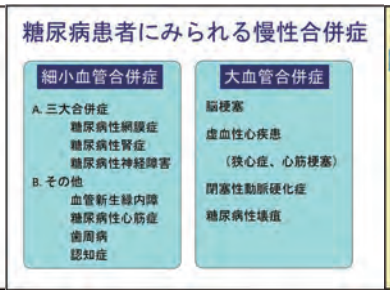
講演１「糖尿病の基礎知識と最近の話題」

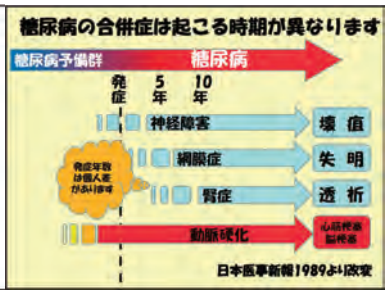
国保水俣市立総合医療センター代謝内科　統括内科部長　古川 昇 先生

講演２「糖尿病を抱えた歯周病患者を治療する際の要点」

熊本歯科衛生士専門学院学院長　東 克章 先生

１月19日（金）19時より、県歯会館３階にて標記研修会が開催され、約100人が聴講した。講演は２部構成で、古川先生の講演から始まった。糖尿病はインスリン作用の相対的不足により引き起こされた持続する高血糖を主徴とし、特有の小血管症を伴なう疾患である。空腹時血糖値が126mg /dℓ以上でブドウ糖負荷２時間後の血糖値が200mg /dℓ以上であると糖尿病の診断になる。糖尿病には１型と２型があり、それぞれ以下のような特徴がある。また糖尿病には以下のような合併症があり、これが問題である。

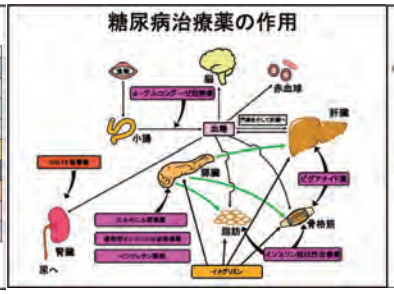


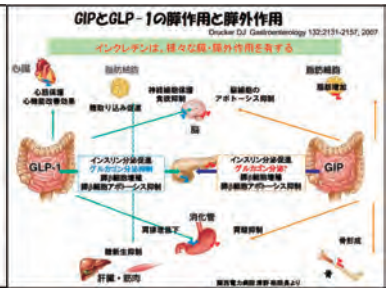


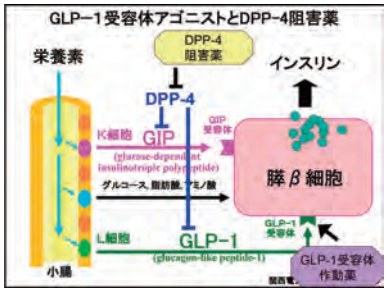
糖尿病のその他の合併症として、

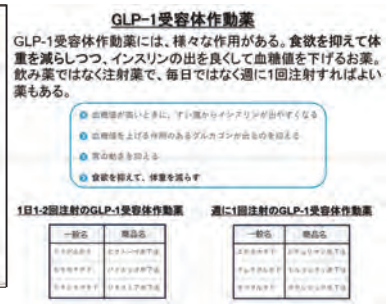
・骨粗鬆症　・歯周病　・認知症　・癌　が挙げられていた。

これらの合併症をいかに抑えるかが糖尿病治療の重要なポイントになる。糖尿病治療の基本は、『食事療法』と『運動療法』と『薬物療法』である。

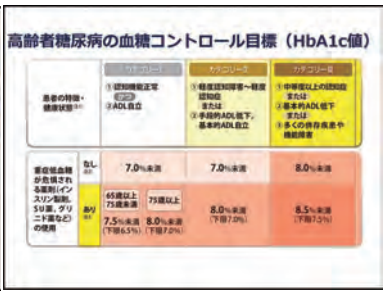


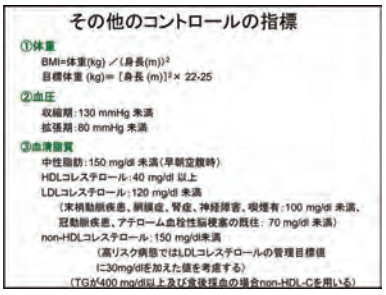






インスリン製剤も多種類にわたっている。自己血糖値を持続的にモニタリングする装置もあるが、X線写真を撮影する際には外していただくほうが良い、とのことであった。血糖コントロールおよびその他のコントロール指標として、HbA1cがあるが薬剤使用中の65歳以上の高齢者ではその基準が異なるということも学んだ。またHbA1c以外の指標についても学ぶことができた。





最後に古川先生より、熊本県では患者を中心とした医療連携として、DM熊友パスの運用を推奨している。このパスを持った糖尿病患者が来院した場合には、歯科の立場から連携手帳へ記載していただくことで糖尿病患者の治療に役立てたいので協力をお願いする、との言葉をいただき講演は終了した。

続いて、歯周病専門医である東先生の講演があった。日本歯周病学会は2023年に糖尿病患者に対する歯周治療ガイドラインを出版しており、われわれ歯科医師はそのガイドラインに沿って歯周病治療を行っていくことになる。この改訂されたガイドラインに沿って講演は行われた。

Q３：糖尿病患者への歯周基本治療の効果は劣るか？

A：血糖コントロール不良な患者において、歯周基本治療の効果はやや劣る傾向がある。

糖尿病のコントロールの程度にかかわらず、歯周基本治療後の短期間（３～６か月）で歯周組織の臨床パラメーター（BOP，PD，CAL）がベースラインと比較して有意に改善することが示された。一方で、血糖コントロールが不良な糖尿病患者（HbA1c≧7.0％）への効果、とりわけBOPの減少が劣る傾向があるため糖尿病患者への歯周基本治療の際には徹底したプラークコントロールと、より丁寧なデブライドメントが必要である。

Q４：歯周治療は糖尿病の合併症に好影響を及ぼすか？

A：歯肉縁下デブライドメントを行うことで糖尿病の合併症の発症率の減少、さらにヘルスケアコストの削減につながる可能性がある。

糖尿病は細小血管病変として網膜症、腎症、神経障害などの合併症を特異的に引き起こし、また虚血性心疾患、脳卒中などの動脈硬化性疾患の発症や進行に関与する。さらに歯周病は糖尿病の６番目の合併症であると報告されているが、糖尿病患者において歯肉縁下デブライドメントを含めた積極的な歯周治療を行うことで、行わなかった場合に比較しHbA1cの低下・改善がもたらされることが示されている。こうした背景より、慢性炎症である歯周病の治療が炎症のコントロールやインスリン抵抗性に影響を及ぼし合併症の発症や重症化リスクの低減にもつながる可能性がある。

CQ３：糖尿病患者に対して歯周外科治療は適用可能か？

A：コントロール良好な糖尿病患者においては、歯周外科治療を弱く推奨する。

（エビデンスの確実性：低　推奨の強さ：弱い推奨）

HbA1cが７％程度にコントロールされている場合、歯周外科治療の適用には支障がないものと考えられる。

CQ４：糖尿病患者に対して歯周組織再生療法を行うことは可能か？

A：糖尿病患者における歯周組織再生療法については、血糖のコントロールが良好な糖尿病患者

に対してのみエナメルマトリックスタンパク質を用いた歯周組織再生療法を行うことを弱く推奨する。

（エビデンスの確実性：低　推奨の強さ：弱い推奨）

血糖のコントロールが良好ではない糖尿病患者においては、創傷治癒や易感染性の点から外科的な処置を回避すべきである。また、GTR法や塩基性線維芽細胞増殖因子を用いた歯周組織再生療法については有効性に関するエビデンスが皆無である。

CQ８：糖尿病患者にSPTを行う際、慢性歯周炎の再発・進行を防ぐために治療間隔は短くするべきか？

A：糖尿病はSPT期にあっても歯周病に対する疾患感受性が高いと考えられるため、糖尿病患者にSPTを行う治療間隔は年４回よりも短くすることが推奨される。

（エビデンスの確実性：中　推奨の強さ：強い推奨）

糖尿病は歯周病のリスクファクターであり、糖尿病のコントロールがなされていないとSPT期間中において歯の喪失やプロービングデプスが悪化することが３つの論文で示唆されている。これらの報告から、SPT期には歯周炎再発の可能性を推測しSPT間隔を調整することが提唱されている。さらに前向きコホートの研究報告により、通常の年４回よりも短い間隔でSPTを行うことが推奨される。

今回、古川先生と東先生に糖尿病と歯周病の深い関係性を講義していただき、改めて歯周治療の重要性を知ることができた。われわれ歯科医師がエビデンスをもって歯周治療に取り組むことこそが、熊本県の歯周病患者のため、さらには糖尿病患者のため、そして日本の医療経済にとっても有益である。来年の糖尿病・歯周病医療連携研修会が、今から楽しみである。

（吉武　義泰）

お知らせ

令和５年度第２回臨時代議員会 開催のお知らせ

下記の通り令和５年度第２回臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：令和６年３月23日（土）午後３時30分～
会場：熊本県歯科医師会館４階ホール

［議　事］

第１号議案　令和５年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　令和６年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　令和６年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　令和６年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件
第５号議案　退会会員の会費及び負担金等の未納金欠損処分の承認を求める件

［協　議］

１　時局対策について
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、事務局に必ずご連絡のうえ、ご来場下さい。

委員会報告

在宅歯科医療連携室事業におけるモデル地域事業

― モデル地域（荒尾市）研修会 ―

地域包括ケア

１月13日（土）14時より標記事業による研修会が荒尾市中央公民館にて開催された。前半は講演会、後半は調理室にて嚥下調整食の見学・試食会といった内容であった。

荒尾市歯会田中会長の開会挨拶の後、「オーラルフレイルと摂食嚥下障害」という演題で九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座高齢者歯科学分野教授の柏崎晴彦教授に講演していただいた。

講演内容は、まず九州大学病院での医科歯科連携についてであった。入院患者で重度の摂食嚥下障害を呈する場合は、医科（主に耳鼻咽喉科）が主になって嚥下を診ていき、比較的軽度の嚥下障害の場合は歯科（主に高齢者歯科）が主になって嚥下を診ていく、さらに口腔機能や口腔ケアに関しては全症例、歯科が担当していく。このように医科と歯科の役割がはっきりとしており、嚥下機能や口腔内の管理を行うためのシステムが確立し実働している良好な医科歯科連携の例が提示された。

また、以上のような良好な医科歯科連携の結果として、消化器外科での手術、特に食道がんの術後の合併症が減少し、さらには入院期間の短縮につながったという興味深い内容が示された。

また柏崎教授が指導されている研究内容として、口腔機能の中で咬合力や口唇圧等は加齢しても明らかな変化は認めなかったが、舌圧は加齢とともに低下傾向を示した。さらに積極的に舌機能を改善する訓練を行うことが、舌機能低下の予防につながったといった興味深い最新の知見も提示いただいた。このことより咀嚼や食塊形成の際に非常に重要となる舌機能が低下しないように、我々歯科医

師は欠損補綴を行うだけではなく口腔機能を管理し口腔機能低下を予防するような訓練を日常臨床の中で行なっていくことが重要であることが示唆された。

後半は荒尾市食生活改善推進員協議会、熊本県栄養士会有明地域事業部等の方々の協力を得て、調理実習室で事前に調理された嚥下調整食を各ブースに分かれての試食会および質疑応答中心の説明会が行われた。各ブースに嚥下調整食２、３、４相当の豚肉の生姜焼きが用意されていた。各嚥下食はばらけにくく尚且つ喉に残りにくいといった、嚥下調整食に重要な物性の調整はもちろんのこと、舌触りや味つけといった味わいにもこだわっていた。特にミキサーにかけたお肉がまとまりやすいようにマッシュポテトをつなぎとして滑らかになるような工夫がされていたことに驚嘆させられた。

今回は熊本県内でも多職種連携が進んでいる荒尾の事例を提示していただき、これらの取り組みを参考に県全体に多職種の連携が広がっていくことがこれからの重要な課題であると認識させられた。

（園田 隆紹）

委員会報告

歯周治療における歯科衛生士の役割の重要性

― 県歯、県歯科衛生士会共催講演会 ―

学術

１月14日（日）牧草一人先生（京都府開業）を講師に迎え「歯周病専門医の立場から考える歯周治療における歯科衛生士の役割」と題し、県歯・県歯科衛生士会共催講演会が県歯会館とWeb配信のハイブリッド形式で147人の参加者を集め開催された。伊藤会長から、能登半島地震の被災者へのお見舞いの言葉と、県歯の歯周病対策プロジェクトの取り組みについての説明の後、開会の挨拶があった。

牧草先生の自己紹介では医院の紹介をはじめ、モンゴルでのボランティア活動や研究内容など自身のライフワークを紹介し、歯周病専門医として歯科医療の取り組みを示された。歯科医師と歯科衛生士が一緒に学ぶことの大切さを説明され、歯科臨床において解剖学が非常に重要であること、解剖学を学ぶ必要性を述べられた。熊本県の日本歯周病学会認定歯科衛生士が福岡県より多いことを誉めて頂き、認定歯科衛生士取得のメリットとして、自身のモチベーション・患者との信頼関係の構築・専門性の高い歯周治療業務・他医院へのアピール・学ぶ過程での医療人としての人格形成を挙げられた。現在の日本の高齢者人口、8020運動の状況、歯の喪失原因が歯周病と歯根破折が大部分を占めていること、また歯周病と全身疾患の関係を説明された。糖尿病患者にスケーリング・ルートプレーニングすることでHbA1c値が改善する報告があり、糖尿病専門医から多くの患者が紹介受診していること、歯科医療従事者も糖尿病についてもっと学ぶ必要があることを述べられた。また歯周病が大腸癌発生の独立したリスク因子になっていることも報告された。歯周病治療には非常に大きな役割があり、歯科医師と歯科衛生士が共通認識を持ってチーム医療を行なっていくことの大切さ、また医療行為を行う上で日本歯科医学会・各学会のガイドラインが全てではないが内容を把握しておくことの重要性を説明された。

講演終了後牧草先生を囲んで

医療面接において患者のプロファイリングが重要であること、医療において患者のライフサイクルを理解し患者の困っていることをどう解決するかが大切であり、病気を治すことが目的にならないようにと述べられた。歯周病の新分類についての説明があり、歯周組織検査においてPISA（Periodontal Inflamed Surface Area）やPESA（Periodontal Epithelial Surface Area）を用いることで歯周治療の効果が判りやすく、治療法の決定も容易になることを説明された。症例を通して、PISAの活用と治療に対する患者説明、初診時からの歯周治療の流れが説明され、主に歯科衛生士が行なっている歯周基本治療が如何に重要であり、素晴らしい仕事であるか、SPT移行時に歯科医師がきちんと歯科衛生士に指示することが重要であることを述べられた。

講演終了後、野田理事から歯周治療に関する保険算定の注意点の説明があった。その後、会場とオンライン参加者から牧草先生への質疑応答があり、全てに対し丁寧に答えて頂いた。最後に県歯科衛生士会越川会長から閉会の挨拶があり、講演会は終了した。

（豊田 正仰）

委員会報告

地域包括ケアにおける歯科の役割

― 九州老年歯科フォーラムin熊本 ―

地域包括ケア

２月３日(日) ９時より標記フォーラムが県歯主催、日本老年歯科医学会の共催にて県歯会館にて開催された。特別講演と基調講演ののちに６人によるシンポジウムといった内容であった。

町田理事の開会宣言の後、本フォーラムの大会長で伊藤会長の挨拶が行われた。

まずは日本老年歯科医学会長崎支部角町支部長の座長で特別講演「地域包括ケア時代における歯科の役割」を千葉県で訪問診療に従事している川越正平医師に講演していただいた。地域包括ケアでは食支援は最重要テーマである。特に要介護高齢者に多い誤嚥性肺炎は摂食嚥下障害や口腔ケアを多職種が協働して対策しなければならない。また在宅療養者の大半は口腔ケアが十分ではなく、多職種で各々自分たちが何をしないといけないのかを明確にして対応する必要性を訴えた。また医療従事者はこれら慢性期の患者に対し医療の視点だけではなく、認知症対応を含めて生活の視点でみて人生の最終段階の意思決定を他職種で共有することが重要である。また医科の視点からみても人生の終末期には歯科の役割は非常に重要であることを講演の中で述べられた。

次に基調講演を日本老年歯科医学会熊本支部松本信久支部長の座長で、静岡県で高齢者歯科医療に従事しており、口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防に重要であるという研究でこの分野の第一人者である米山武義歯科医師が「住み慣れた地域で安心して人生を全うするために」のタイトルで講演された。健康寿命を伸ばし穏やかな最期を迎えるためには口腔管理が重要である。自身の研究で口腔ケアを行うことと誤嚥性肺炎の減少と相関関係が示唆されたのだが、現在8020運動で残存歯数が増加してきており、口腔管理が少しでも疎かになると、これまで以上に誤嚥性肺炎の増加が懸念される．今後多職種が連携してこれらの壁を乗り越えていかないといけない。また口腔機能の低下に対する取り組みも重要である。これからの歯科医療は診療室だけではなく地域が活動の現場になるということを念頭に平時の体制作りを行っていくことが重要

であると述べられた。

最後に６人のシンポジストによる講演が行われた。県からは認知症対策・地域ケア推進課課長の米澤氏が「熊本県における在宅歯科医療の方向性」について、熊本県医師会からは理事の中村氏が「医療と介護の分野において患者情報ネットワーク」について、熊本県介護支援専門員からは副会長の藤井氏が「地域包括ケアについて介護支援専門員が抱える課題」について熊本県看護協会からは森保氏が「地域包括ケアについて歯科に求めるもの」について、熊本県老人福祉施設協議会からは副会長の松岡氏が「特養における口腔衛生管理の現状と歯科専門職との連携の必要性」について、最後に町田理事より「地域包括ケアにおける歯科の役割」についての講演が行われた。

講演後には活発な意見交換が行われ、予定時間を超える盛況ぶりであった。

会の終了にあたり謝辞を牛島専務理事が述べ、閉会の挨拶を実行委員長である長野常務理事が行い、フォーラムは終了となった。

今回のフォーラムでは在宅医療においての口腔ケアをはじめとする口腔内の管理の重要性は多職種にある程度理解され、多職種連携の重要性が示唆されてはいるものの、現場での対応はまだ十分であるとは言い難い。今後は他職種への単なる歯科医療の重要性の周知のみならず顔の見える関係づくりや気軽に相談できるような仕組みづくりが大切であると感じた。

（園田 隆紹）

熊本市歯科医師会

砂糖の過剰摂取の危険性

― 第２回学術講演会 ―

令和５年10月28日(土)、令和５年度熊本市歯会標記講演会が県歯会館３Ｆで開催された。会長挨拶に続き静岡県開業の新美歯科オーラルケアの新美寿英先生より、「お砂糖博士の歯科医院で共有したい砂糖の話」と題し、講演があった。

日本では2000万人、1/6が糖尿病予備軍と言われていることや、砂糖の実情として、世界的には砂糖の摂取を控える傾向にあり、摂取量はWHOの2015年の指針によると25g/day、およそ摂取カロリーの５％程度が推奨されていることを説明された。日本においては砂糖の１日摂取量に関する正確なデータはないとされ、砂糖の摂取量は減ってきているが、異性化糖や加糖調整品の摂取は増えており、それらを含めた場合の消費量は、一人当たり１日63.6gとかなり増加してきているというデータがあることについて触れられた。

次に砂糖の科学として、炭水化物、脂質、糖質の関連性や、糖の分類について説明された。またこの30年程度の間に世界の肥満人口が２倍になるなど、人間が太る機会が増えてきたことや、非アルコール性脂肪肝が増えていることにも触れられた。そして特に異性化糖については細かく説明された。異性化糖は日本においては様々な食品や調味料に使用されているため、知らないうちに摂取量が増えてしまっていることについて触れられ、その原料は主にトウモロコシであること、日本においての輸入経路から製造までの流れなどを順を追って細かく触れられた。異性化糖が大きく流通していくといった環境の変化の中で、果糖の過剰摂取につながり、人間が太りやすい環境ができてしまっていることを指摘された。

様々な食品や調味料に異性化糖が使用されているとのこと

砂糖の科学や歴史について詳しく説明された

次に先生は砂糖の歴史について説明された。砂糖は2400年前のインドを発祥としており食品としての歴史は浅いこと、日本においては昭和の時代に急速に普及したこと、日本人の食生活は戦後、人類の歴史の中で類を見ないほど大きく変化したことを指摘された。厚労省は平成28年の「保険医療2035提言書」を公表しており、その中で、厚労省の見解として初めて、「砂糖」はタバコ、アルコールとならぶ、健康リスクと記載している。砂糖は摂取することで脳内麻薬のエンドルフィンとセロトニンが分泌されるので、食べるだけで幸福感と安心感を得られやすい。人間誰でも「気分を変えたい」願望があるが、甘味などの「食」は最も安価で手軽な気分転換となるため、摂取量が増えてしまいやすい。気分転換の方法を持つことの重要性について触れられた。

加工食品が溢れる現代社会においては、健康リスクの一つにもなりうる砂糖の過剰摂取を避けるためには、「何を食べるかよりも何を食べないか」を考えることも重要で、日本人としては、①主食はお米であること②飲み物は水かお茶、であることが、まずはシンプルにコントロールしやすい方法であることを説明された。お米をしっかり食べて、砂糖の摂取量を減らし、上手に付き合う意識を持ってコントロールしていくことが、身体のためにいいことではないかということであった。質疑応答ののち、閉会となった。

（藤岡 洋記）

郡市会報告

天草郡市歯科医師会

『辰のように飛翔する一年に』

― 新年会 ―

１月６日（土）17時よりホテルアレグリアガーデン天草にて標記会が執り行われた。開宴前にロビーにて集合写真撮影を行い、29人の出席者、うち来賓の方々は７人もお越し頂き、コロナ禍以降久々の多数の参加であった。

本来なら気持ちも新たに2024年のスタート、おめでたいムードで行われるはずであったが、元日に発生した石川県能登半島地震で犠牲となられた方へ黙とうを捧げ、会が始まった。引き続き天草郡市歯会の中嶋会長の挨拶でも地震の話題に触れ、さらには翌２日の羽田空港での日本航空と海上保安庁の機体との衝突事故の犠牲者にお悔やみを述べ、年明け早々このような衝撃的な災害や事故が立て続けに起こった事に改めて身の引き締まる思いとなった。

さらに衆議院議員の金子泰之氏、天草市長の馬場昭治氏は天草の将来の展望として、年々減少する人口にどう対応するか、特に生産年齢世代の確保のため、いかに天草を住みやすい、魅力的な街にしていくか、さらには着々と進められている、将来八代と天草を車で片道10分で交通できる八代・天草シーラインについて説明された。続いて上天草市副市長、県議会議員の３人の方々の挨拶を頂戴し、薬剤師会会長、木

コロナ禍以降久々の多数の参加となった

場貴俊氏の乾杯の挨拶により新年会のスタートとなった。

美味しい料理とお酒が続けば、いつもの和やかなムードで各自テーブルで会話も弾み楽しい３時間近い祝宴となった。本来ならやっとコロナ禍も過ぎ、とても楽しい新年会だったと締めていただろうが、どこに住んでいようが、何歳であろうが平凡な日常が一瞬で崩れるかもしれないこの現代社会、県歯の先生方、事務局の方々が幸福な良い一年を過ごされることを祈願して上記タイトルにした。今年も宜しくお願い致します。

（松原　崇士）

山鹿市歯科医師会

会員減少問題や医療連携について語り合う

― 例会及び新年会 ―

１月20日（土）、山鹿市歯会標記会が山鹿の久吾にて行われた。

初めに河原会長の年頭の挨拶があり、続く県歯大林副会長の来賓挨拶では、能登半島地震や山鹿市歯会の会員減少問題や医療連携の話があった。また、今年は14年ぶりに旧鹿本郡歯会の会員であった植木地区の先生方にもご出席頂き、懐かしい話で大いに盛り上がった。もっと頻回にお会いして情報を共有出来る機会があればいいと思った。武市山鹿市歯会副会長の挨拶で閉会した。今年も昨年以上に山鹿地域医療に貢献しなければならないと思った。

（小林 聡）

久しぶりに植木地区の先生方も参加した

阿蘇郡市歯科医師会

５年ぶりの新年会を開催

― 医療対策講演会及び新年会 ―

１月20日（土）16時より県歯会館にて標記講演会、その後18時より「郷土料理 青柳」にて新年会が開催された。

まず、医療対策のくま歯キャラバン隊による講演会を行い、椿理事による事例分析と詳細な事例報告があった。実際に県歯に寄せられた患者や会員からの相談事例を複数、時系列に沿って詳しい説明があった。続いて永松副会長による応召義務について法律やその解釈などについて解説があり、対応困難な事例に対してどう対処すれば良いか示された。日常の診療において明日から気を付けるべき、また知っておくべき内容ばかりで会員にとって非常に有意義な講演会となった。

椿理事による詳細な事例分析と報告があった

久しぶりに話題の尽きない楽しい時間を過ごした

その後会場を移し、５年ぶりの新年会が開催された。県議会議員、三師会、県歯の先生方にも来賓として列席して頂いた。佐藤会長による挨拶と片山公則先生の学校保険表彰（文部科学大臣表彰）へのお祝いの言葉、各来賓の先生方による挨拶と続き、永松副会長の乾杯の発声にて宴が始まった。久しぶりの新年会ということで大いに盛り上がり、皆席を立って話題の尽きない楽しい時間を過ごした。閉会を惜しまれながらも最後は安光副会長の三本締めでお開きとなった。年頭に阿蘇郡市歯会の絆を深める良い新年会となった。

（多田 真一郎）

上益城郡歯科医師会

万が一に備えて

― BLS講習 ―

２月４日（日）午前10時より上益城郡消防本部にて、田上俊英先生（御船町・田上皮膚科院長）を講師にお招きし、標記講習が行われた。田上先生は日本皮膚科学会専門医でありながら上益城郡メディカルコントロール協議会のACLS部会長や日本救急医学会ICLSコースの認定コースディレクターなどを務めておられ、救急救命の講習に力を入れておられる。

参加者は15人で、会員の歯科医師とその診療所スタッフが熱心に取り組んだ。講習は高度にプログラム化されており、基礎知識を確認したのち胸骨圧迫、気道確保・頸動脈確認、AEDの使用、バッグバルブマスクの使用についてデモ見学・実習と、歯科診療所にて患者に急変のあった際に救急隊の到着までに絶対に我々が行っておくべき一次救命処置を確実に身につけることができた。気管挿管の体験も実施され、これは全身麻酔前に歯科に紹介される患者について、動揺した前歯の処置についても考

デモ見学後実習も

参加者15人は真剣に学んだ

え直すこともでき、BLSという視点以上に得るものがあった。

救急救命とは、我々の診療所では一生で一度も起きてほしくない出来事の一つではあるが、万が一の場合には確実に行う責任のある手技と言える。そしてそれは一人では行うことができないため診療所全員で取り組むことも必要である。来年も同じBLSコースの開催が予定され、より高度なICLSコースの開催も６月に開催予定のため、まだ受講されていない会員はもとより、各診療所スタッフにも是非とも繰り返し受講していただきたい。

田上先生に加えアシスタントとして３人の看護師や救急救命士２人にも協力していただき、明るい雰囲気の中にも集中した講習は２時間という短時間でまとめられ、日本救急医学会認定の修了証を受け取った参加者は満足感と自信を手にし、散会となった。

（江藤　崇文）

リレー投稿 87

「私の趣味は！」

天草郡苓北町　青砥歯科医院　青砥 圭吾

天草郡苓北町で開業しています青砥圭吾と申します。天草市の内崎会員より年度末のバタバタの中バトンを受け取りました。

何を題材に書こうか悩みましたが、趣味で続けているスキューバダイビングを題材に書こうと思います。私は高校、大学と地元を離れていましたが、福岡歯科大学口腔外科からの出向で天草中央総合病院に赴任しました。その時にスキューバダイビングのライセンスを取得しました。それ以来年間を通して潜り続け、いつの間にか24年目に突入しました。潜る場所は海外リゾートと言いたいですが、地元の天草を中心に１泊２日位で行ける、宮崎県南郷や鹿児島県枕崎、屋久島等を潜っています。ただやはり沖縄の青い海に憧れて沖縄本島を飛び越えて西表島へ潜りに行く事があります。西表周囲のポイントも透明度も良く、カラフルな魚が多く見られ癒されますが、オガンと言う場所で潜りたくて西表島まで足を運んでいます。オガンとは仲之御神島の通称で西表島の南西にある無人島です。島の港から１時間位かかりますが海峡が良くないと行けないポイントです。私は７月に良く行くのですがカーチバイという南西の季節風の影響や台風によりなかなか行けない場所です。私は幸いにも50％位の確率でオガンへ行けていますが、知人は５回も西表島に行ったのにまだ１回もオガンには行けてないと嘆いています。その島の周囲も面白い地形で楽しいのですが、島が小さく見える位ま

サメ

イソマグロ

で島から離れた海原の中のポイントがあります。そこにはオガンから続く水中の瀬があり、そこに潮が当たり栄養豊富なため大物のイソマグロが見られるポイントです。６～７人のグループで海中に入りその瀬まで15メートル程一気に潜っていきます。外洋で流れもあるため岩にしがみ付き、目の前を悠然と泳ぐ２メートル級の磯マグロを見ると、アドレナリン全開で叫びたくなります。他にもグルクンの群れやテングハギの群れ等圧巻の光景です。初心者では行けず、中級から上級者のポイントのため周りのダイバーも慣れた感じで水中を楽しんでいます。船上に上がってくると、ハイテンションのためか初対面のダイバーと水中での事や、普段どこで潜っているのか等会話が弾み自然とチームとしてのまとまりができてきます。そうなってくると、帰港後の夕食で一緒になったりすると更に話が弾みます。こういった多職種の人との会話は日常生活においてもためになり、自身の仕事のスタッフとのコミュニケーションにも役立ってきます。今後の仕事のモチベーションアップやストレス発散の為にも体が許す限りスキューバダイビングを楽しんでいきたいと思っています。

次回は上天草市で開業されている松原歯科医院院長、松原崇士会員にバトンをお渡ししたいと思います。

熊歯乙女のひとりごと㊱　「継承は、突然に。」

山鹿市　おしま歯科医院　山本 朋子

会員の先生方は身内のように感じ、初めての寄稿ですが、ごく私的な内容になりますことをお許しください。令和５年12月、父亡き後のおしま歯科医院を支えてきた母が亡くなりました。父が亡くなったのは令和３年の４月で、３年のうちに２人とも突然いなくなってしまいました。父母とも亡くなったのは日曜日。父は駐車場の草を刈り、母は受付の文房具を揃え、休日も月曜からの診療の準備をしていました。きっと多くの先生方も休日も診療のために活動していらっしゃるのではないでしょうか。前日まで一緒に仕事をしていた父母が急にいなくなり、悲しむ時間も無いまま診療と諸手続きに奔走し、説明する度に涙を流して下さる患者さんを私が慰めるといった状態でした。診療所を閉めるという選択肢は考えられず、母の目の黒いうちだけでも続けなくてはと、福岡での勤務医と熊本での開業医の二重生活を選択。それまでも娘のいる福岡から新幹線通勤で週に２日父の手伝いをしておりましたが、実家の診療所を継ぐのは難しいと考え、勤務医になる決意をしたばかりでした。内科の歯科部門立ち上げを任されたところで、何より自分１人でスタッフを養う自信がなかった私は、給料だけは払えるようにと掛け持ちしたのです。スタッフと受付事務の母が診療を支えてくれましたが、院長になると診療以外にやることが倍増し、

可愛い孫を抱っこし優しいおじいちゃんの顔に

在りし日の父と母と３人で

診療後の帰宅中は自宅までの残り100mが歩けず、何度も立ち止まることもありました。やがて軌道に乗った歯科部門を後任に引き継いで勤務医を退職、長年通って下さる優しい患者さんと、父の丁寧な仕事に感謝しつつ自分の診療所に専念できるようになりました。院長と呼ばれるのも慣れてきた昨年末、母が他界。本人も月曜日から同じように受付にいると信じていたでしょう。突然過ぎて何の準備もないまま諸手続きと並行しての診療。電話、予約、会計など受付業務をしながら治療し、経理の裏方全てを自分でやることになりました。奇跡的に事務の方が見つかり、ようやく診療に集中できるようになったところです。周りの支えあって初めて、治療や学びに専念できることを実感しています。

父母がスタッフや患者さんに注いだ愛情を継承し、小さな診療所の大きな宝に感謝の日々です。

今日も娘を送り出し、新幹線通勤で診療を続けています。

医療法人　おしま歯科医院

〒861-0531　山鹿市中825
Tel./Fax　0968-43-1234
www.oshimashika.com
☆おしま歯科　山鹿☆

（山本 朋子）

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

井手　崇博
（イデ　タカヒロ）

熊本市南区島町４－１－60

にじいろ歯科
スマイルクリニック

①今後の医療ＤＸの行方です。
②患者さんとラポールの築けた歯科診療です。
③お子様からお年寄りまで老若男女問わず患者さんに来て頂けるような医院としました。
④患者さん、スタッフ、社会の三方よしの歯科医院を築きたいです。

一森　康男
（イチモリ　ヤスオ）

八代郡氷川町網道287-8

いちもり歯科クリニック

①新築した医院の進むべき方向性。
②医学的正当性はもちろんだが、個々人のことを包括的によく考え、よく相談し一生懸命に行う治療とスタッフそれぞれのおもてなし。
③海と山に囲まれたのどかな田園地帯を望む景色。
④健康に気をつけて、出来るだけ長く診療したいと思います。

R．6．3

会　務　報　告

自　令和５年12月22日
至　令和６年１月25日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	12月24日	社会歯科学会冬期研修会inみえ（三重県歯会館）	牛島専務理事
	26日	第183回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（第二合同庁舎）	椿副会長
		第３回県保健医療推進協議会（県防災センター）	伊藤会長
	26日	第８回理事会 【承認事項】 （１）新入会員（２）令和６年度県歯終身会員、代議員会表彰者リスト等 （３）関係機関・団体から役員等の推薦依頼（４）後援・共催依頼 【議　　題】 （１）令和５年度第２回各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡会議次第 （２）日赤健康管理センターにおける新歯周病リスク検査への協力 （３）各郡市における学校歯科校医担当者の情報提供依頼 （４）令和６年度後期高齢者口腔健康診査（５）令和６年度総務事業計画（案） （６）令和６年度各委員会事業計画（案）（７）令和６年度各委員会予算（案） （８）令和５年度第２回臨時代議員会日程（案）（９）令和６年度事業計画（案） （10）令和６年度会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法（案） （11）電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定 （12）ケイ・デー・エム・ユー業務委託料	伊藤会長他全役員
	28日	事務局仕事納め式	伊藤会長、牛島専務理事
	29日	事務局年末・年始休暇（至１月３日）	
		故　三村　保会員（山鹿市）告別式弔辞奉呈（天寿苑）	伊藤会長
	１月４日	事務局仕事始め式	伊藤会長、牛島専務理事
		知事新年挨拶訪問（県庁）	伊藤会長、牛島専務理事、岡﨑事務局長
		熊本市長新年挨拶訪問（熊本市役所）	伊藤会長、牛島専務理事、岡﨑事務局長
	６日	八代歯会新年会（八代ホワイトパレス）	伊藤会長
	９日	DX打合せ （１）本会・学院のWi-Fi・ルーター設置打合せ	宇治常務理事
		第12回常務理事会 （１）関係機関・団体への会費などの納入（２）後援依頼 （３）第38回中規模県歯科医師会連合会提出協議題の回答 （４）第２回九地連協議会提出協議題の回答 （５）各郡市歯科医師会入会金、会費、負担金一覧表（６）会員発送物同封依頼 （７）令和６年度主要行事予定（８）熊本市・業務委託契約等入札参加資格申請 （９）令和６年度能登半島地震への支援（10）医療経済出版からの執筆依頼	伊藤会長他常務理事以上全役員
	10日	職員面談	牛島専務理事
		支払基金審査運営協議会（支払基金、診療所）	
	11日	第14回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
	13日	第２回九州各県専務理事会	伊藤会長、牛島専務理事
		菊池郡市歯会新年会（ホテル日航熊本）	伊藤会長
		県歯剣道部新年会及び第65回九地連剣道大会団体戦優勝祝賀会（熊本市）	伊藤会長
	15日	電気契約ヒアリング	牛島専務理事
	17日	全国歯科保健大会第３回準備委員会 （１）会場・控室（２）出演者の選定（３）主催者打合会、実行委員会の日程	牛島専務理事、宇治・馬場常務理事、神﨑理事
	18日	第15回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
		県口腔保健支援センター出務（県庁）	髙水間理事
		月次監査 12月末会計現況監査	増田・水上監事
	19日	災害歯科保健医療研修強化事業意見交換会（水俣保健所管内）（つなぎ文化センター） （１）録画講演、講師：田上大輔先生（２）意見交換会	永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、椿理事、永田水俣・芦北郡市歯科医師会会長他３人
	20日	くま歯キャラバン隊（阿蘇郡市） 参加者：21人　テーマ：医事紛争の実情と実例	永松副会長、椿理事
		山鹿市歯会新年会（山鹿市）	大林副会長
		阿蘇郡市歯会新年会（熊本市）	永松副会長
		熊本市歯会新年懇親パーティー	椿副会長、馬場常務理事、岡﨑事務局長
	23日	第13回常務理事会 （１）新入会員（２）後援依頼（３）令和５年度臨時代議員会会務報告 （４）第38回中規模県歯科医師会連合会提出協議題の回答 （５）くまもと歯の健康文化賞の推薦候補（６）令和６年能登半島地震災害への義援金 （７）令和６年能登半島地震への災害歯科医療支援チームの派遣 （８）令和５年度出産育児就業制限による県歯均等割会費及び県歯共催互助負担金免除申請の認定 （９）令和６年度県歯会費及び共済互助負担金免除申請の認定 （10）歯科体験イベント実施計画書（案）（11）会員発送物同封依頼 （12）第45回全国歯科保健大会（13）令和５年度熊本県補助・委託事業に係る予算（案） （14）熊本市との業務委託契約（15）本会・学院の電力契約の見直し	伊藤会長他常務理事以上全役員

所管	日付	摘要	出務者
総　務	24日	【Web】歯科保健研修会　県口腔保険支援センター出務	牛島専務理事、宇治常務理事、髙水間理事
		DX職員研修会 【Zoom】ハイブリッド開催を想定したWeb機器接続	宇治常務理事、野田理事
		日歯広報委員会正副委員長予定者打合せ（日歯会館）	伊藤会長
		災害歯科保健医療研修強化事業意見交換会（熊本市保健所管内） （１）意見交換会	永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、椿理事、渡辺熊本市歯科医師会会長他３人
	25日	第10回日歯理事会（日歯会館）	伊藤会長
		第184回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本第二合同庁舎）	椿副会長
学　術	１月11日	第３回歯周病対策プロジェクトセミナー 講師：東克章先生　演題：「歯周病専門医でなくてもできる保険制度を利用した効果的な歯周治療の進め方とその実際」 受講者：85人	豊田理事、内野委員長他全委員（南川委員を除く）
		学術委員会 （１）歯科医学大会（２）歯科衛生士会共催講演会（３）メーカー共催講演会 （４）会報「学術だより」投稿	豊田理事、内野委員長他全委員（南川委員を除く）
	14日	DH会共催・歯周病プロジェクト講演会 講師：牧草一人先生 演題：「歯周病専門医の立場から考える歯周治療における歯科衛生士の役割」 受講者：会場60人　Web100人	伊藤会長、椿副会長、豊田理事、野田理事、内野委員長、添島委員、飯盛委員
社会保険	12月23日	【Web】社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）報告事項と今後の日程	椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長14全委員
	26日	社会保険医療担当者監査（県防災センター）	舩津理事
	１月18日	保険個別指導（熊本第二合同庁舎）	小林委員
	24日	九州厚生局・県庁との打合せ 九州厚生局熊本事務所４人、熊本県２人、県歯３人	椿副会長、舩津理事、桐野委員長
地域保健学校歯科	１月12日	第61回県高等学校保健研究協議大会（くまもと森都心プラザ）	大林副会長
	18日	糖尿病・歯周病医療連絡研修会打合せ （１）研修会接続テスト（２）役割分担	髙水間理事他６人
	19日	【ハイブリッド】糖尿病・歯周病医療連携研修会 講師：国保水俣市立総合医療センター　古川昇先生、東克章先生　受講者：81人	伊藤会長、大林副会長、髙水間理事他５人
	21日	第２回がん医科歯科連携登録医のための全国共通がん医科歯科連携講習会 受講者：11人	髙水間理事、舩津理事他１人
	23日	県健康づくり県民会議幹事会（県庁）	牛島専務理事
	24日	【Web】がん連携運営協議会事前打合せ（各診療所） （１）次年度のがん医科歯科連携事業	髙水間理事、郷原委員長他２人
	25日	第２回フッ化物洗口に関するワーキング委員会	大林副会長、牛島専務理事、髙水間理事、郷原委員長他３人
地域包括ケア	12月27日	【Web】令和６年度歯科健診単価協議会 （１）単価協議試算表より協議（２）受診率向上の取り組み	牛島専務理事、長野常務理事、町田理事
	１月５日	【Web】九州老年歯科フォーラムシンポジスト打合せ（各診療所） （１）案内チラシ（２）開催及びシンポジウム趣旨説明と内容検討	長野常務理事、町田理事他６人
	11日	「熊本さわやか大学校」講座（県総合福祉センター） 演題：健康はお口から　受講者：72人	川野委員
	13日	モデル地域（荒尾市）研修会（荒尾市中央公民館） 受講者：68人　講師：九州大学大学院口腔顔面病態学 講座：高齢者歯科学・全身管理歯科学分野教授 柏崎 晴彦先生	長野常務理事、町田理事、園田副委員長
	15日	【Web】九州老年歯科フォーラム準備委員会 （１）講師旅程確認（２）協賛企業（３）チラシと動画 （４）タイムスケジュールと役割分担	牛島専務理事、長野常務理事、町田理事他４人
	16日	「熊本さわやか大学校」講座（桜十字ホール八代） 演題：骨粗しょう症と歯科　受講者：18人	八代阿川理事
	20日	モデル地域（人吉市）研修会（ホテルサン人吉） 講師：松本信久会員、清水雅英会員　受講者：31人	長野常務理事、町田理事他４人
	21日	歯科衛生士会主催県民公開講座（熊本市民センターひだまり） 演題：健康長寿は歯から ご存じですか オーラルフレイル　受講者：60人	長野常務理事
	22日	地域包括ケア委員会 （１）報告（２）介護者歯科実技研修事業（３）九州老年歯科フォーラム （４）介護保険請求（５）口腔衛生管理	長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他全委員
	23日	第２回県後期高齢者医療運営協議会（県市町村自治会館本館）	長野常務理事
広　報	１月16日	【Web】広報委員会（県歯会館、各診療所） （１）会報２月号１校目校正	【会館】神﨑理事、月精委員長、秋山副委員長、田中委員【Web】他全委員
	23日	【Web】広報委員会（県歯会館、各診療所） （１）会報２月号２校目校正	【会館】神﨑理事、月精委員長、秋山副委員長、平島委員【Web】他全委員
医療対策	12月27日	医療相談	永松副会長、椿理事、河野委員
	１月15日	医療対策委員会 （１）事例報告（２）委員提出協議題（３）理事報告	永松副会長、椿理事、町田委員長他全委員
	16日	医療相談	永松副会長、椿理事
厚生・医療管理	１月10日	【Web】厚生・医療管理小委員会（各診療所） （１）インスタ講演会（２）医院継承講演会（３）クレカ利用講演会 （４）歯科衛生士バンク・復職支援事業（５）代診派遣（６）医療管理だより （７）今年の予定	永松副会長、工藤理事、牧委員長、宮本副委員長

所管	日付	摘要	出務者
厚生・医療管理	17日	【Web】インスタグラム活用講演会 講師：株式会社SARA 宮口正造代表取締役　Web参加者：44人 【Zoom】	【会館】永松副会長、工藤理事、牧委員長、江藤委員【Web】宮本副委員長、黒岩委員
センター	12月22日	センター職員面談（口腔保健センター）	牛島専務理事
	23日	口腔保健センターDH面談	椿センター長
	１月５日	口腔保健センター定例ミーティング（口腔保健センター） （１）センター取組紹介資料（２）保健医療計画（３）県政広報番組 （４）診療日・診療担当（５）患者写真撮影（６）レセプト（７）医療機関連携 （８）委託契約入札参加資格申請（９）患者件数等報告	椿センター長、我那覇副センター長
	11日	センター常勤歯科医師面接選考	椿センター長、牛島専務理事
	21日	口腔保健センター登録歯科医制度研修会　受講者：67人	伊藤会長、椿センター長、我那覇副センター長、山室副センター長、牛島常務理事、三笘診療部長
	23日	障害者歯科学会モデル事業担当者連絡会（口腔保健センター） （１）第６回モデル事業担当者連絡会議事録（案） （２）モデル事業研究の実施状況報告：熊本県歯科医師会口腔保健センター （３）モデル事業研究の実施状況報告・問題点（４）その他	我那覇副センター長、山川指導医
学　　院	12月26日	鶴田校医への挨拶（鶴田胃腸科内科医院）	東学院長、岩切次長
		第８回理事会	東学院長
	１月９日	学院始業式	東学院長
	20日	学院一般・社会人二次入学試験　受験者：２人（一般：１人、社会人：１人）	正清教務部長
	23日	第４回入試委員会 （１）出願者数及び合格者数の推移（２）各年度合格者の学科試験点数状況 （３）令和６年度入学生 一般・社会人二次入学試験合格決定	伊藤会長、椿・大林・永松副会長、牛島専務理事、東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長
国保組合	１月17日	会計実地検査	
	20日	第２回九歯連役員会（ソラリオ西鉄ホテル福岡）	伊藤理事長
		九歯連協議会（ソラリオ西鉄ホテル福岡）	伊藤理事長、上野副理事長、牛島常務理事、野田理事他３人
	21日	九州各県事務担当者連絡会（福岡県歯会館）	田代課長他２人

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

◎令和５年８月より
最高「5000万円」の
保障が無診査で加入OK
80才まで継続可能になります！

１年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
（2022年の還元率54%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アフラック生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
March 2024 No.813

8020 歯からはじめる 笑顔ヘルC

主な行事予定 4 April

2日(火)	第１回常務理事会
8日(月)	学院始業式
9日(火)	学院入学式
16日(火)	第２回常務理事会
23日(火)	第12回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

県内大学生が若者への
オーラルケアの情報を発信しています！

Instagram

いい笑顔は BEAUTY× TEETH オーラルケアから

熊本県歯科医師会公認の
オーラルケアサポートアカウント

Instagram

熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください

編集者のつぶやき

私は、ここ数年週２回ペースで95歳の父を連れて県北の温泉に通ってます。一緒に家族風呂に入るわけではないので男湯の浴場で転ばないか心配ですが、父の唯一の楽しみなのでできる限り付き合おうと決めています。

ただ物価高騰や燃料高騰の煽りで来月から一回の入浴料が一人450円から1000円に値上がりするそうです。さすがに1000円は高すぎるのでまた新たな温泉地を探している最中ですが、なかなか厳しい世の中になってきてますね。

(K.M)

■発行日／2024年３月５日発行 ■発行人／伊藤 明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷